

み の り

学校ホームページ <http://www.kamonorin-h.nein.ed.jp>

柔道部伊藤浩太郎選手国体出場決定！



柔道部の伊藤浩太郎選手(3-1)が、10月7・8日に愛媛県武道館で開催される「えひめ国体」柔道少年男子の部に、新潟県代表選手として出場

する栄誉を手にしました。

国体は、国内最大の国民スポーツの祭典。新潟県選手団は、昨年総合成績17位と健闘し、今年は10位台定着を目指します。柔道少年男子は、体重別に選抜された5人の選手による団体戦。伊藤選手は100kg以下級の県代表として、重要な副将を務めます。

伊藤選手は、9月27日(水)の壮行会(写真)で、「新潟県代表として精一杯頑張ります」と力強く決意表明。万全の状態为国体に臨み、力を出しきることができるよう、全校で応援しています。

稲刈り、焼わなブドウなど実りの秋到来！



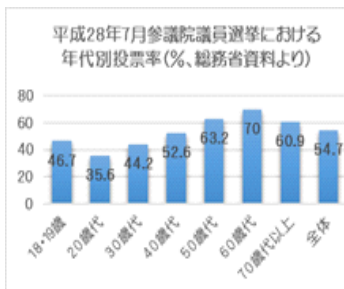
実りの秋を迎えました。田上農場では、作物コースの生徒が丹精込めた稲が順調に育ち、稲刈りが始まりました。

川船農場では、果樹コースの生徒が手塩にかけたシャインマスカットなど甘くて美味しいブドウが焼わな^{たわ}に実りました。畜舎では、動物コースの生徒が産まれたばかりの子牛を丁寧に世話しています。

本校農場では、野菜・草花コース、環境緑地科の生徒が、ピーマン、鉢花のストレプトカーパス、しいたけなどの実りを街に売りに出ています。

安全安心で旬の農産物を届ける農業と、真摯に学ぶ高校生の大切さをあらためて感じる季節です。

「18歳選挙権について」講演会を開催！



9月22日(金)、2・3年生を対象に「18歳選挙権について」と題して講演会が開催されました。

加茂市選挙管理委員会の講師から、

選挙と民主主義、選挙権と被選挙権、若者の投票率、投票の実際、選挙運動のルール(やっていいこと・悪いこと)、インターネット選挙運動など、幅広い内容をわかりやすく話していただきました。

18歳以上に選挙権が拡大されてから初めて行われた昨年7月の参議院議員選挙の年代別投票率(グラフ)は、18・19歳は少し高め約45%ながら、20歳代は約35%で、60歳代の約70%と倍の開きがありました。これでは、若者の声^{こゑ}が政治に届きにくくなる^{きこ}ことが危惧されてしまいます。

18歳選挙権は、女性参政権以来の選挙権の拡大。この機会に、若い皆さんには選挙に関心を持ってもらい、国家・社会の有為な形成者として必要な政治的教養を育ててほしいものです。

また、できることとできないことを正しく理解していないと、知らないうちに公職選挙法違反になりかねません。テキストを参考に、正しい知識を持ってほしいと願っています。

☆テキストより抜粋☆

◇満18歳(有権者)になれば、選挙運動が可能で
す。例えば…

- 友人・知人に直接投票や応援を依頼する。
- 電話により投票や応援を依頼する。
- 自分で選挙運動メッセージを掲示板・ブログなどに書き込む。
- 選挙運動メッセージをSNSなどで広める。
- 選挙運動の様子を動画サイトなどに投稿する。

◆但し、電子メールを利用した選挙運動は、候補者や政党等以外の全ての人^{ひと}ができません。

◆満18歳未満は一切の選挙運動ができません。

生命情報コース、カーブドッチワイナリーで研修！



9月7日(木)、新潟市西蒲区のカーブドッチワイナリーで、生命情報コース1年生の「総合実習」として、現地研修会が行われました。

カーブドッチワイナリーは、角田浜近くの砂地に毎年堆肥を入れて土作りをし、大切に育てたこの地のブドウだけで作った上質なワインを提供。温泉、レストラン、ホテルを併設し、その経営や取組は全国的にも注目されています。社長による講話や製造責任者による施設紹介(写真)をしていただき、「農業・食品ビジネスの課題と取組」を現地で深く学ぶことができました。ありがたいことです。

2年生からの「課題研究」に向けて、生徒は沢山の知識と経験を蓄えています。

小学生や高等部の皆さんと農場で交流！

【着ぐるみで出迎え→】



【←山羊にえさやり】

9月13日(水)に加茂南小学校1年生、27日(水)に加茂小学校1・2年生の皆さんが、川船農場を訪問してくれました。

動物コースの生徒が、着ぐるみ姿で出迎えると、小学生から握手を求められる大人気。その後、グループに分かれて、牛のブラッシング、子豚の観察、採卵、山羊のえさやりなどを体験しました。

小学生からは「大きくなったら動物のお世話をしてみたい」「お肉を食べることは動物の命をいただくことなんだ」などの声が聞かれました。

また、20日(水)には、五泉特別支援学校高等部の皆さんが訪問。動物との触れ合い、ブドウの収穫やパック詰めなどを一緒に行い、交流を深めました。

他校との交流活動を通じて、農業の魅力や大切さを再認識する機会にもなりました。ありがとうございました。来年もまたお越しください。

「ワクワクマインド」で進路実現に挑戦を！



9月16日から就職試験が解禁、26日から大学入試センター試験の出願が始まり、進路実現に向けた山場を迎えました。

就職希望者は、3年間の努力を本番でしっかりPRできるようにと、夏休み中も履歴書書きや面接練習など頑張ってきました。進学希望者も、自学に加え、補習や個別指導に取り組んできました。

また、8月17・18日に、新潟大学農学部村松ステーションで開かれた「農水版チャレンジセミナー」にも、1・2年生8名(全県の農業高校等から24名)が参加。新潟大学の学生による体験談や、目標達成技術の講演(写真)、小論文作成技術の講義で、進路の実現にチャレンジする方法を具体的に学びました。

難しい状況に直面したとき、「どうせ無理」と考え、諦めてしまうのは、自分で限界を作ってしまうもったいないことです。人間は、自分の想定を遙かに超える可能性を持っています。「やれるかも」「やってみよう」と考え、解決策を考え、行動に移す。そんな「ワクワクマインド」を持って、自分の可能性に挑戦し、進路の夢・目標を実現してください。

そんな皆さんの力になりたい先生方です。

SPH事業第1回運営指導委員会を開催！



9月26日(火)、スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(SPH)事業に係る第1回運営指導委員会が開催されました。

ご多用の中、9名の外部委員全員にご出席いただき、専門的立場から指導助言をいただきました。

「人と人とのつながりを大事にしてほしい」「1年生から課題を発表する機会を作してほしい」などの貴重なご意見。事業の改善に生かしていきたいと思えます。

また、同窓会寄贈の横断幕(写真)も完成し、テニスコート脇に設置しました。3年間の取組で、生徒の皆さんの成長を後押ししていきたいと思えます。

(「HSJ通信」もご覧ください。1～3号HPに掲載中)